

平成24年度 鬼無里公民館運営審議会 会議録

- 1 日時 平成25年3月5日(火) 午後3時30分
2 場所 鬼無里公民館 2階 講義室
3 出席者 ・鬼無里公民館運営審議会委員 5名
・鬼無里公民館分館長 3名
・事務局 2名

4 傍聴人 なし

- 5 審議事項
・平成24年度鬼無里公民館事業報告について

6 審議内容

会長 平成24年度鬼無里公民館事業報告について説明を求める。

事務局 <説明>

会長 事業報告について質問、意見を願います。

委員 おでやれくらぶは、手軽な中華料理、介護予防、ジャズを楽しむ教養講座、ペーパーコサージュなど、高齢者が関心のあるテーマをはじめ多彩な講座内容で、毎回参加者も多く好評だった。

また、鬼無里寺子屋塾では、市立博物館と共催で、奥裾花溪谷を知るなどの地域講座を3回実施し、興味深い内容で今後も継続して実施してほしい。

事務局 おでやれくらぶは、参加者が多く、調理実習、クラフト講座などは、参加者が講師の助手を勤めて実施している。

25年度の鬼無里寺子屋塾では、市立博物館と共催で鬼無里の歴史民族を学ぶ講座を2回計画している。

委員 ときめき講座の切り絵教室は、参加者が少なく中止となったが、くらしの会の事業と重なってしまい参加できなく残念だった。

事務局 講座の内容、開催時期など検討が必要である。

委員 中学校では、公民館事業(野球・ソフトボール大会、運動会、文化祭、福祉と人権の集い)に参加し、地域との交流を推進している。今後も、地区の行事には積極的に参加する。しかし、中学校では、生徒数が減少し、25年度は、3年生3人、全校でも24人の予定である。中学校の他の行事と重なると参加が難しい。

今後生徒数の減少が見込まれ、小中学校と合同で市民運動会などの

実施が必要となる。

事務局 中学校では、各公民館事業に積極的に参加していただき感謝している。特に、福祉と人権の集いでは、小中学生から人権、福祉に関する作文発表があった。

市民運動会については、現在、住民自治協議会が中心になりスポーツ協会などが協力して実施している。今後、種目の内容、運営方法など、時間をかけ検討の必要がある。

分館長 少子高齢化が進行し、人集めなど分館の運営に苦勞をしている。

会 長 成人式の出席者の内訳は。

事務局 成人対象者14名、参加者が13名、ほか来賓スタッフである。

鬼無里中学校の卒業生は全員参加し、対象者は少ないが、新成人全員から大人としての自覚や将来の夢などを発表し、整然とした真摯な式典となった。

会 長 ほかに意見等がないようなので、以上で審議を終了する。

(終了時間 午後4時30分)